

## 第67回(平成14年度第6回)理事会議事録

(財)神奈川県スキー連盟

1. 日 時 平成15年2月4日(火) 19時~20時30分
2. 場 所 神奈川県社会福祉会館 2階第2研修室
3. 出席理事 (副会長) 広瀬 稔、古郡 敬一、野地 澄雄  
(専務理事) 山田 隆  
(常務理事) 片 忠夫、渡辺 三郎、菊地 富士夫、越前谷芳隆  
(理事) 早川 博基、柴田 秀一、上田 英之、本田 衛義、  
百海 廷、徳本 進、斎藤 幸雄、長久保 巖、菊地 勇二、  
木村 徳善、清水 忠、栗田 謙悟、平沢 幸一、本宮 敏宏
- 欠席理事 (会長) 河野 洋平  
(理事) 堀 祐樹、岡本 洋一
4. 出席監事 徳田 盾夫  
欠席監事 井駒 利一
5. 議長 山田 隆専務理事を選出
6. 議事録署名人 斎藤理事、木村理事を選出
7. 書記 川上 修広報委員を指名
8. 議 事

### 1) 競技本部関係

#### (1) 報告事項

以下の各事項について菊地競技本部長から報告がありました。

##### 役員派遣

1月5日~7日 神奈川県高等学校スキー大会

派遣者 菊地 富士夫

##### 行事報告

1月末現在までにアルペン部5行事、ノルディック部4行事、フリースタイル部2行事が開催され、大きな障害も無く終了できた。モーグルキャンプについては雪不足のため中止となった。

特に、アルペン部とフリースタイル部は競技会参加者が昨年比で1割ほど増えている。ノルディック部については若干の減少傾向なので、今後の行事及び来年度に向けこれまでの反省点を生かし、参加者の増加に向けて努力していく。

#### (2) 審議事項

##### 第58回国民体育大会神奈川県代表候補について

菊地競技本部長から、別紙記載の代表候補者の紹介があり、審議の結果承認した。ただし、予選会前日の大会の優勝者を選考対象に含めることについて、来年度以降の要項には明文化するよう、山田専務理事から要請があった。

##### 会長印押印について

菊地競技本部長から、国体出場者を対象とした強化合宿への派遣依頼書に会長印を押印する旨提案があり、審議の結果承認した。

##### 後援事業について

栗田理事から、白馬さのさか観光協会主催のスキークロス大会に、SAJ、長野県スキー連盟と共にSAKも後援として名前を入れたいとの提案があった。

後援となってもSAKから資金面の出費は必要無く、今後SAKでのスキークロス大会開催への取込みも踏まえて勉強させて頂くという主旨が説明され、審議の結果承認した。

なお、山田専務理事から、後援に入るだけでなくSAKのホームページで紹介して、神奈川県からもこの大会に参加者が出るように働きかけるよう要請があった。

##### 第54回神奈川県総合体育大会冬季大会スキー競技会について

栗田理事から、別紙記載の開催要項について説明があった。併せて、県から「t o

t oの補助が減額されているため、来年度補助金は現状のままとしても再来年度以降は15%程度の減額となることを了解頂きたい」との要請があったことが報告された。

また、山田専務理事から、60歳以上程度で成年男子Dを設けられないかとの提案があり、オープンでの開催を含めて来年度以降に検討中であるとの回答があり、審議の結果承認した。

国体へのトレーナー派遣について

越前谷常務理事から、国体へのトレーナー派遣についての報告と、SAKから謝金を出すとの提案があり、審議の結果承認した。

## 2)教育本部関係

### (1)報告事項

以下の事項について渡辺教育本部長から報告があり了承した。

行事報告

1月末までの予定行事7件は順調に開催されているが、各行事とも参加者の減少が見られる。受験者も正指59名、準指226名(昨年は各67名、245名)と減少傾向にあり、開催内容を含めて参加者減少に向けた対策が必要。また、教育行事の他、競技本部への派遣も昨年同様実施した。

これに対し山田専務理事から参加者減少に対して確実に現状の把握をしておくよう要請があった。また、広瀬副会長からは3月の県選手権大会にも大会役員を派遣して欲しいということと、技術選の採点に関して、モーグル種目のように採点基準を明確化して欲しいとの要請があった。

また、本宮理事から、競技本部行事への派遣者はセッター講習会に参加できるように明文化してはどうかとの提案があり、了承した。

### (2)審議事項

第2回SAK/SAC技術選手権大会への集計計算担当派遣について

渡辺教育本部長から、事後報告となるが、同大会の点数集計計算担当として山崎聡子さんを派遣するとの提案があり、審議の結果承認した。

技術選出場者について

渡辺教育本部長から、別紙リストで技術選上位入賞者の報告があり、男子は8位まで、女子は5位までの選手を全日本技術選への派遣候補とすることが報告され、審議の結果承認した。

## 3)総務本部関係

### (1)報告事項

慶弔関係

片総務本部長から、木村理事御母堂逝去に対する生花と香典の報告があり了承した。

資金運用状況

上田理事から、12月末の会計状況が報告され了承した。

また、入金を明確化するため複写無しの領収証を切らないようにとの要望があった。

登録関係

柴田理事から、1月末の登録状況が報告され、了承した。

登録人数は一般6027名(昨年同期6300名)、中高生込み6576名(同6966名)

各種委員会

・スノーボード委員会

早川理事から、尾瀬戸倉での行事の報告があり了承した。

・広報委員会

徳本理事から広報取材用ベストの製作、雪上行事取材の経過と今後の予定、SAKだより第45号発行日程についての3件の報告があり了承した。

・総務委員会 無し

・規約規定委員会 無し

・北海道プロジェクト

百海理事から、現在アンケート集計中との報告があり了承した。

・ハンディキャップ委員会

越前谷常務理事から、第1回HCスキー教室実施の報告があり了承した。

その他

越前谷常務理事から、事務所のパソコン5台のうち3台にアンチウィルスソフトをインストールしたことが報告され、残り2台についても総務本部の予算でインストールするものとして了承した。

(2) 審議事項

活性化プロジェクトの発足と諮問事項

片常務理事から、昨今の会員減少に対して組織を活性化し会員の増加を計るために「活性化プロジェクト」を発足させたいとの提案があり、各事項について審議の結果、以下の内容でスタートすることを承認した。

・諮問事項

神奈川県スキー連盟及びスキー界の活性化と潜在スキーヤーの掘り起こし。

・メンバー選出

プロジェクトメンバーの選出は、ブロックから何人とか、各本部から何人ずつといった固定的な集め方はしない。結論は出せなくても良いから自由な意見を出してもらおうという意味で、幅広い人材を集めたい。また、各協会へ派遣依頼を出すような時間的に無駄のあることも止める。

以上の審議結果から、メンバー選出は総務本部の企画担当に一任する。

・予算

必要経費は、予備費から総務会議費の科目で充当する。

規約・規定委員会への諮問事項

片常務理事から、ブロック制としている現在の役員選出規定の不備について全面的に見直しをしたらどうか。また、ブロック制度としているが、ルールが無いので明文化したらどうか。日程的には6月の理事会までに出して頂いて、評議員会に上程したいとの提案があり、審議の結果承認した。

評議員変更

越前谷常務理事から、評議員変更について以下の説明があり、審議の結果承認した。

大和市スキー協会

届け出日 H14年12月24日

前 任 河上 新一

新 任 坂井 登

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記に署名する。

平成15年 月 日

議 長 印

議事録署名人 印

議事録署名人 印